

令和6年12月10日

報道機関各位

青森県危機管理局防災危機管理課

「避難生活支援リーダー/サポーター」研修の開催について

地域の意欲的なボランティア人材に避難所運営のスキルを身に付けてもらい、地域の防災力を向上させることを目的として、下記のとおり「避難生活支援リーダー/サポーター」研修が開催されますので、お知らせします。

記

- 1 日 時 令和6年12月14日(土)～15日(日)(両日とも10:00～16:00)
- 2 場 所 八戸福祉体育館(青森県八戸市類家4-3-1)
- 3 参加者 自主防災会、防災士、女性消防団員、地元大学生等
- 4 スケジュール 別紙1のとおり。※参加者の申込みは終了しました。
- 5 取材に当たっての留意事項
 - 本研修は、全日程において取材可能です。
取材を希望される方は、令和6年12月13日(金)12時までに別紙2にて問合せ先アドレスまでメールで取材者の事前登録をお願いします。別紙1の申込・窓口は参加者用です。
 - 研修中の入退室は自由です。
 - 取材される方は、社名入りの腕章を着用してください。

報道機関用提供資料	
担当課	危機管理局防災危機管理課
担当者	危機管理対策GM 屋崎 雪絵
電話番号	直通：017-734-9088 内線：4120
報道監	危機管理局次長 佐藤 広之

主催／共催 内閣府／青森県、八戸市

避難生活支援 リーダー／サポーター研修

「災害関連死・ゼロ」を目指して

災害時の避難生活の環境向上に貢献できる
地域の人材を育成します

参加
無料

定員あり

※定員に達し次第
受付終了

近年、災害の多発や避難の長期化に伴う災害関連死の増加が
ますます懸念されています。

そのため、避難生活の環境向上に関わる
地域の様々な立場の方の協力が不可欠です。

そこで、被災者とのコミュニケーションや具体的な環境向上のための
スキルを体系的に学ぶことができる研修を実施します。

この研修では、

- ①事前学習：オンデマンド講座(動画視聴)の受講と、
- ②避難所運営演習(2日間)にご参加いただけます。

詳細は裏面へ！

1 事前学習：オンデマンド講座

eラーニングシステムで、8コマ、1コマ20分程度の動画を、②避難所運営演習の開催前までに視聴していただけます。
支援者としての基礎知識や役立つスキルについて、研修テキスト(※)の中から特に重要な点を深めます。

※オンデマンド講座は以下の2つの方法から視聴方法をお選びください。

- ①動画視聴会に参加する
- ②インターネット上の専用ウェブページから視聴する

動画視聴会は以下日程で開催いたします。昼の部または夜の部にご参加ください。

日時：令和6年12月5日(木) ○昼の部 14:00～16:00 ○夜の部 18:00～20:00

場所：八戸市津波防災センター 研修室B 〒031-0071 青森県八戸市沼館四丁目6番19号

2 避難所運営演習

2日間の演習を通じて、避難生活の環境向上のためのスキルや
被災者とのコミュニケーションの基礎などを学びます。

1日目 令和6年12月14日(土) 10:00～16:00

2日目 令和6年12月15日(日) 10:00～16:00

会場

八戸福祉体育館

〒031-0001 青森県八戸市類家4-3-1

※駐車場あり

持ち物

研修テキスト、内履き、昼食
クリップボード

(別紙1)

研修概要

1 事前学習：オンデマンド講座の受講

支援者としての基礎知識や役立つスキルについて、研修テキスト(※)の中から特に重要な点を深めます。

オンデマンド講座の概要

避難生活支援リーダー/サポーター育成の必要性、ボランティア・支援者としての心構え・姿勢、災害「支援」の基礎知識、多様な被災者への配慮・ニーズ対応、避難所運営の知識とスキルなど

※研修テキスト、オンデマンド講座URL、パスワードは、申込受付後準備が整い次第お送りいたします。

※オンデマンド講座は以下の2つの方法から視聴方法をお選びください。

- ①動画視聴会に参加する
- ②インターネットのウェブサイトから視聴する

動画視聴会は以下日程で開催いたします。昼の部または夜の部にご参加ください。

日時：令和6年12月5日(木) ○昼の部 14:00～16:00 ○夜の部 18:00～20:00
 場所：八戸市津波防災センター 研修室B 〒031-0071 青森県八戸市沼館四丁目6番19号

2 避難所運営演習の参加

2日間の演習を通じて、避難生活の環境向上のためのスキルや被災者とのコミュニケーションの基礎などを学びます。

避難所運営演習の概要

- ・1日目 多様な被災者の心情や状況の理解
避難生活の課題と生活環境の整備
- ・2日目 被災者とのコミュニケーション
避難所運営の担い手との連携・協働



講師



浦野 愛 (うらの あい) レスキューストックヤード/常務理事

阪神・淡路大震災では、大学生のボランティアネットワークに所属し、被災者支援にあたる。卒業後、特別養護老人ホームデイリーサービスセンターで介護職として勤務し、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなる。2004年より事務局長、2009年より常務理事を務める。避難所運営支援や災害時要配慮者への支援事業を中心に、災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。令和6年能登半島地震では石川県穴水町の長期支援に関わる。社会福祉士。

申込・窓口

以下の4つのお申し込み方法の中からお選びください。

- ①ウェブ
- ②お電話
- ③メール
- ※件名
- 電話
- ※セキ
- 携帯
- ④申込
- くだ

参加者申込受付は終了しました。

申込用 QR コード



QRコードは
※) アンソニーウェブの
登録商標です

FAX 0178-45-0099

研修内容に に関する問合せ

内閣府業務受託事業者 避難生活支援リーダー/サポーター研修会事務局
株式会社ダイナックス都市環境研究所 (担当：津賀・大宮)

TEL 03-5402-5355

MAIL leader-supporter@dynax-eco.com

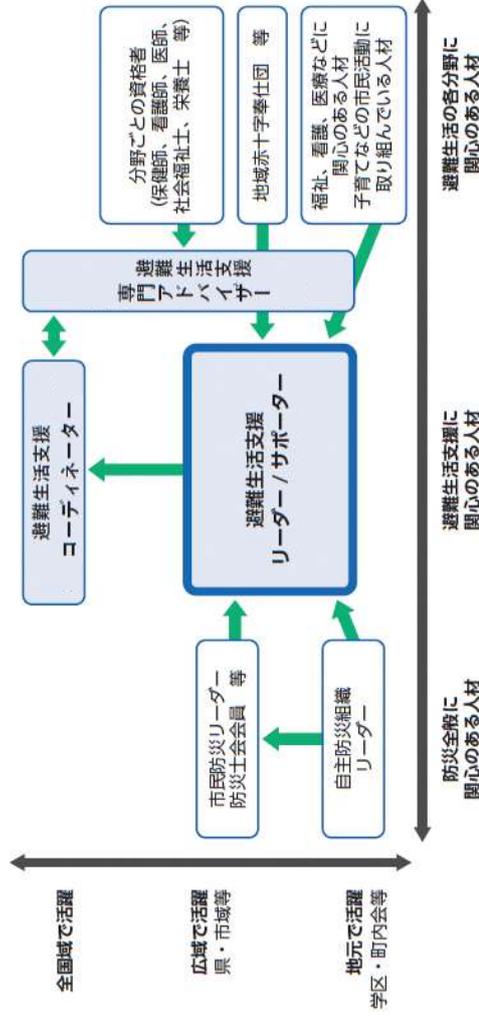
避難生活支援リーダー／サポーター研修について（令和4年度～） （「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築）

（別紙1）

○ 内閣府では、災害の激甚化・頻発化等により避難生活が長期化する中、地域のボランティア人材に、**避難生活環境改善のための知識・ノウハウを身につけてもらうためのモデル研修を令和4年度から開始。**

○ こうした取組を通じて地域のボランティア人材の発掘・育成を図り、発災時には行政職員や支援者等と連携して**もらい、良好な避難生活環境の確保を図ることにより、「災害関連死・ゼロ」の実現を目指す。**

避難生活支援リーダー／サポーターとは



○ 「避難生活支援リーダー／サポーター」とは、避難所運営の基本的スキルを習得し、**自治体や支援者等とともに、避難所の生活環境向上に率先して取り組むことができる人材**

○ 当該人材を各地域で発掘・育成するために、**内閣府主催の「避難生活支援リーダー／サポーター研修」を全国で開催**

⇒ これ以外にも、運営に関わる担い手と連携した環境改善に率先して取り組む人材「避難生活支援コーディネーター」や、医療・保健・福祉等の専門的な知見を活かした支援・助言をするともに、リーダー／サポーター、コーディネーターと連携できる人材である「避難生活支援専門アドバイザー」を育成するための仕組み・研修プログラムも、引き続き、関係者や各分野のニーズ等も踏まえて再検討

避難生活支援リーダー／サポーター研修（令和6年度）

研修 プログラム

- ・オンデマンド講座（事前視聴）
- ・基礎講義、グループ討議、演習 など、研修期間2日間

研修 実施地区

- ・八戸市（青森）・館林市（群馬）・箕輪町（長野）
- ・倉敷市（岡山）・嘉麻市（福岡） 計5地区



研修テキスト



グループ討議



避難所の環境改善演習

令和6年度スケジュール

R6年度前半

- 研修カリキュラム・テキスト検討
- 研修実施自治体等との調整

R6年度後半

- 研修の実施（計5地区）
 - 研修アンケート結果等の分析
 - 次年度に向けた改善検討
- 来年度の研修について、自治体・関係団体等での開催を促すための検討（内閣府の役割・研修主催自治体等に対する支援の検討）
 - アドバイザー研修等の位置付け・枠組みの検討

- 研修修了者の認定、データベース、マッチングの仕組み検討・構築

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付 井口・前田 宛

提出先：bousai18@cao.go.jp

令和6年度「避難生活支援リーダー／サポーター」研修に係る取材登録票
(八戸市)

御所属		
取材方法		ムービー ・ スチール ・ ペン (該当するものに○をしてください。)
取材代表者	取材代表者氏名	
	連絡先	電話
		メールアドレス
取材同行者	同行者1 氏名	
	同行者2 氏名	
	同行者3 氏名	
取材希望日 (該当日に☑をしてください。)		<input type="checkbox"/> 1日目 (令和6年12月14日 (土)) <input type="checkbox"/> 2日目 (令和6年12月15日 (日))

※取材する方のフルネームを記載してください。

※登録期限：12月13日(金)12時まで(厳守)